



2019年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月2日

上場会社名 株式会社セブン銀行 上場取引所 東  
 コード番号 8410 URL <https://www.sevenbank.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）舟竹 泰昭  
 問合せ先責任者（役職名）常務執行役員企画部長（氏名）竹内 洋 (TEL) 03-3211-3041  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月3日  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト、機関投資家向け）

（表示単位未満切捨て）

1. 2019年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

（1）連結経営成績（%表示は、対前年中間期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期中間期	73,450	17.9	20,725	4.1	△258	—
2018年3月期中間期	62,279	1.7	19,898	4.1	13,602	4.7

（注）包括利益 2019年3月期中間期 △459百万円（—%） 2018年3月期中間期 12,808百万円（23.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期中間期	△0.21	—
2018年3月期中間期	11.41	11.39

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、2019年3月期中間期は純損失が計上されているので、記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期中間期	1,089,978	205,341	18.8
2018年3月期	1,022,485	212,027	20.6

（参考）自己資本 2019年3月期中間期 205,009百万円 2018年3月期 211,475百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分）を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	4.75	—	5.25	10.00
2019年3月期	—	5.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	147,200	15.3	39,900	4.1	12,800	△49.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期中間期	1,192,464,000株	2018年3月期	1,191,528,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期中間期	831,371株	2018年3月期	896,328株
③ 期中平均株式数（中間期）	2019年3月期中間期	1,191,179,673株	2018年3月期中間期	1,191,293,135株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

(個別業績の概要)

1. 2019年3月期第2四半期（中間期）の個別業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年中間増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期中間期	60,405	3.8	22,826	6.1	701	△95.2
2018年3月期中間期	58,186	2.3	21,507	7.0	14,808	7.2
	1株当たり 中間純利益					
	円 銭					
2019年3月期中間期	0.58					
2018年3月期中間期	12.43					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期中間期	1,093,394	212,110	19.3
2018年3月期	1,023,201	217,036	21.1

(参考) 自己資本 2019年3月期中間期 211,790百万円 2018年3月期 216,503百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2019年3月期の個別業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	119,600	2.5	42,500	0.5	14,000	△51.9	11.75

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当社は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社）に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。
- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

目 次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	3
（3）業績予想に関する定性的情報	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
（1）中間連結貸借対照表	4
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
（3）中間連結株主資本等変動計算書	7
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
3. 中間財務諸表	10
（1）中間貸借対照表	10
（2）中間損益計算書	11
（3）中間株主資本等変動計算書	12

※ 当社は、以下の通り投資家向け説明会を開催する予定です。  
説明会の動画、主なQ&A等については、開催後当社Webサイトに掲載する予定です。

2018年11月5日（月） アナリスト・機関投資家向け決算説明会

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

## ・当期間の経営成績

わが国の景気は、雇用・所得環境が着実に改善しており、所得から支出への前向きな循環メカニズムが働くもとの、振れを伴いながらも穏やかに拡大しております。金融面は長期金利から中長期の予想物価上昇率を差し引いた実質長期金利はマイナスで推移するなど、引き続き、きわめて緩和した状態にあります。

このような環境の中、当社の海外事業を推進している米国連結子会社FCTI, Inc.（以下、「FCTI」という。）ならびにインドネシア連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL（以下、「ATMi」という。）に係る収支が、当初策定した計画を下回って推移していることから、今後の計画の見直しを行い、FCTI・ATMi両社に係る固定資産（主にFCTIの株式取得時に発生したのれん）等について減損損失14,596百万円を特別損失として当中間期に計上したことにより、当中間期の当社連結業績は、経常収益73,450百万円、経常利益20,725百万円、親会社株主に帰属する中間純利益△258百万円となりました。

なお、セブン銀行単体では、当社が保有する上記、海外子会社2社の株式について実質価額の低下を認識し、関係会社株式評価損21,756百万円を特別損失として計上したことにより、当中間期の当社業績は経常収益60,405百万円、経常利益22,826百万円、中間純利益701百万円となりました。

(経営成績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年同期比
経常収益	62,279	73,450	17.9%増
経常利益	19,898	20,725	4.1%増
親会社株主に帰属する 中間純利益	13,602	△258	－%

サービス別の概況は、以下の通りであります。

## ①ATMプラットフォーム事業（国内事業）

当中間期も、セブン&アイHLDGS.のグループ各社（以下、「グループ」という。）内外へのATM設置を積極的に推進したこと等により、ATMをご利用いただくお客さまの利便性向上に努めました。

当中間期は、更なるATM利用者拡大のため、新たなカテゴリーとして金融機関以外の資金移動業者などとの新規提携を継続的に進め、2018年8月にdカードプリペイド、2018年9月にバンドルカードのATM利用を開始いたしました。このような取組みの結果、当中間期末現在の提携金融機関等は、銀行124行、信用金庫258庫、信用組合127組合、労働金庫13庫、JAバンク1業態、JFマリンバンク1業態、商工組合中央金庫1庫、証券会社11社、生命保険会社7社、その他金融機関等59社の計602社（注）となりました。

ATM設置については、グループ内ではセブン-イレブン店舗の新規出店に合わせて展開し、順調に台数を伸ばしました。一方、グループ外ではお客さまのニーズに応える形で交通・流通・観光の各施設への展開を引続き推進しております。

以上の取組みの結果、ATM設置台数は24,756台（前期末比1.4%増）となりました。また、当中間期のATM1日1台当たりの平均利用件数は93.7件（前年同期比1.6%減）、総利用件数は419百万件（同2.3%増）と推移いたしました。

国内の当社連結子会社株式会社セブン・ペイメントサービスは企業から個人宛ての送金をセブン銀行ATMとセブン-イレブンのレジで受取ることができる「現金受取サービス」を2018年5月に開始し、当中間期末時点で、契約合意企業数は100社を突破いたしました。

これからも、今までの概念に捉われないATMの価値創造を通じ、社会の変化・お客さまニーズの変化に柔軟に対応したATM事業を推進してまいります。

（注）JAバンク及びJFマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしております。

## ②決済口座事業（国内事業）

当中間期末現在、個人のお客さまの預金口座数は1,903千口座（前期末比4.1%増）、預金残高は4,170億円（同1.8%増）となりました。個人向けローンサービスの残高は228億円（同0.6%増）となりました。

より便利で気軽なおサイフ代わりとして当社口座をお使いいただけるよう2016年10月に発行を開始したデビット付きキャッシュカードの口座数は順調に増加し409千口座となりました。

海外送金サービスは外国籍のお客さまを中心に契約口座数・送金件数ともに順調に増加し、当中間期の送金件数は555千件（前年同期比6.5%増）となりました。

国内の当社連結子会社株式会社バンク・ビジネスファクトリー（以下、「BBF」という。）は、当社からの事務受

託に加え、決済口座事業で得た知見を活かし、他金融機関等からの事務受託事業を展開しております。近年、マネー・ローンダリングにおける手口は巧妙化し新たな社会課題と認識されており、金融機関等には機動的かつ実効的な対応が求められております。BBFでは事務受託範囲を金融機関等のマネー・ローンダリング対策に拡大し、社会課題の解決を通じ、業容の拡大を図ってまいります。

また、2018年6月、株式会社セブン・フィナンシャルサービスと共同出資(当社出資比率30%)で新たに持分法適用関連会社として設立した株式会社セブン・ペイでは、スマートフォンをツールとした新たな決済サービスの開始に向け準備を進めております。

### ③海外事業

海外事業におきましては、進出当時と現在のビジネス環境の変化、今後のビジネス機会を冷静に見極め、経営資源の選択と集中を行い事業を推進してまいります。

北米における当社連結子会社FCTIの2018年6月末現在のATM台数は13,235台となりました。FCTIの連結対象期間(2018年1～6月)の業績は、経常収益119.1百万米ドル、経常利益△12.3百万米ドル、中間純利益△102.3百万米ドルとなりました。米国セブン・イレブンに設置した約8,000台のATMネットワークを活かし、利用件数の向上、更なる運用効率を追求し安定した利益体質の早期構築に傾注してまいります。

インドネシアにおける当社連結子会社のATMiは進出当初の前提条件、事業計画から大幅な乖離が生じていることより、事業方針を変更し、事業撤退の準備を開始いたしました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

総資産は、1,089,978百万円となりました。このうちATM運営のために必要な現金預け金が728,983百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保等として必要な有価証券が78,982百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるATM仮払金が199,072百万円となっております。

負債は、884,637百万円となりました。このうち主なものは預金であり、その残高(譲渡性預金を除く)は677,417百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は278,836百万円、定期預金残高は138,231百万円となっております。

純資産は、205,341百万円となりました。このうち利益剰余金は139,562百万円となっております。

(財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当中間連結会計期間	増減
総資産	1,022,485	1,089,978	67,492
負債	810,458	884,637	74,178
純資産	212,027	205,341	△6,686

## (3) 業績予想に関する定性的情報

現時点では2018年9月7日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当中間連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	710,369	728,983
有価証券	61,939	78,982
貸出金	22,715	22,863
外国為替	0	0
A T M仮払金	146,977	199,072
その他資産	18,537	15,152
有形固定資産	24,798	17,203
無形固定資産	35,958	26,933
退職給付に係る資産	264	296
繰延税金資産	962	522
貸倒引当金	△36	△32
<b>資産の部合計</b>	<b>1,022,485</b>	<b>1,089,978</b>
<b>負債の部</b>		
預金	622,406	677,417
譲渡性預金	800	1,360
借入金	10,000	10,000
社債	95,000	95,000
A T M仮受金	59,032	80,448
その他負債	21,769	19,662
賞与引当金	457	471
退職給付に係る負債	2	2
役員退職慰労引当金	2	3
株式給付引当金	102	120
繰延税金負債	885	149
<b>負債の部合計</b>	<b>810,458</b>	<b>884,637</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	30,572	30,679
資本剰余金	30,554	30,661
利益剰余金	146,075	139,562
自己株式	△380	△352
株主資本合計	206,823	200,551
その他有価証券評価差額金	244	844
為替換算調整勘定	4,308	3,514
退職給付に係る調整累計額	98	99
その他の包括利益累計額合計	4,651	4,458
新株予約権	533	320
非支配株主持分	18	11
<b>純資産の部合計</b>	<b>212,027</b>	<b>205,341</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,022,485</b>	<b>1,089,978</b>

## （2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
経常収益	62,279	73,450
資金運用収益	1,652	1,770
（うち貸出金利息）	1,591	1,716
（うち有価証券利息配当金）	10	9
役務取引等収益	60,480	70,996
（うちATM受入手数料）	57,302	67,421
その他業務収益	125	135
その他経常収益	20	548
経常費用	42,381	52,725
資金調達費用	351	330
（うち預金利息）	89	62
役務取引等費用	12,038	18,980
（うちATM設置支払手数料）	9,619	14,821
（うちATM支払手数料）	849	2,089
営業経費	29,962	33,249
その他経常費用	29	165
経常利益	19,898	20,725
特別損失	83	14,678
固定資産処分損	83	81
減損損失	—	14,596
税金等調整前中間純利益	19,814	6,047
法人税、住民税及び事業税	6,755	6,844
法人税等調整額	△542	△531
法人税等合計	6,213	6,312
中間純利益又は中間純損失（△）	13,601	△264
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△1	△6
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	13,602	△258

## 中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	13,601	△264
その他の包括利益	△792	△194
その他有価証券評価差額金	103	600
為替換算調整勘定	△903	△795
退職給付に係る調整額	7	1
中間包括利益	12,808	△459
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	12,810	△451
非支配株主に係る中間包括利益	△1	△7



## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,572	30,554	132,093	△0	193,221
当中間期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△5,659		△5,659
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)			13,602		13,602
自己株式の取得				△380	△380
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	7,943	△380	7,562
当中間期末残高	30,572	30,554	140,036	△380	200,784

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	217	5,012	73	5,303	533	22	199,081
当中間期変動額							
新株の発行							—
剰余金の配当							△5,659
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)							13,602
自己株式の取得							△380
自己株式の処分							—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	103	△903	7	△792	—	△1	△794
当中間期変動額合計	103	△903	7	△792	—	△1	6,768
当中間期末残高	320	4,109	81	4,511	533	21	205,850

## 株式会社セブン銀行(8410) 2019年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(連結)

当中間連結会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,572	30,554	146,075	△380	206,823
当中間期変動額					
新株の発行	106	106			213
剰余金の配当			△6,255		△6,255
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)			△258		△258
自己株式の取得					—
自己株式の処分				27	27
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	106	106	△6,513	27	△6,272
当中間期末残高	30,679	30,661	139,562	△352	200,551

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	244	4,308	98	4,651	533	18	212,027
当中間期変動額							
新株の発行							213
剰余金の配当							△6,255
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)							△258
自己株式の取得							—
自己株式の処分							27
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	600	△794	1	△193	△212	△7	△413
当中間期変動額合計	600	△794	1	△193	△212	△7	△6,686
当中間期末残高	844	3,514	99	4,458	320	11	205,341

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

3. 中間財務諸表  
 (1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当中間会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	706,876	726,236
有価証券	90,028	85,315
貸出金	23,799	23,965
外国為替	0	0
未収収益	9,144	8,950
A T M仮払金	146,888	199,041
その他資産	2,156	2,851
その他の資産	2,156	2,851
有形固定資産	17,476	14,739
無形固定資産	25,899	25,048
前払年金費用	116	145
繰延税金資産	1,009	7,271
貸倒引当金	△192	△170
資産の部合計	1,023,201	1,093,394
<b>負債の部</b>		
預金	622,781	677,959
譲渡性預金	800	1,360
借入金	10,000	10,000
社債	95,000	95,000
A T M仮受金	59,032	80,448
その他負債	18,067	16,031
未払法人税等	8,015	7,341
資産除去債務	355	360
その他の負債	9,696	8,329
賞与引当金	381	363
株式給付引当金	102	120
負債の部合計	806,165	881,283
<b>純資産の部</b>		
資本金	30,572	30,679
資本剰余金	30,572	30,679
資本準備金	30,572	30,679
利益剰余金	155,493	149,938
利益準備金	0	0
その他利益剰余金	155,493	149,938
繰越利益剰余金	155,493	149,938
自己株式	△380	△352
株主資本合計	216,258	210,945
その他有価証券評価差額金	244	844
評価・換算差額等合計	244	844
新株予約権	533	320
純資産の部合計	217,036	212,110
負債及び純資産の部合計	1,023,201	1,093,394

## (2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
経常収益	58,186	60,405
資金運用収益	1,645	1,776
(うち貸出金利息)	1,591	1,723
(うち有価証券利息配当金)	10	9
役務取引等収益	56,348	57,920
(うちATM受入手数料)	53,219	54,482
その他業務収益	125	149
その他経常収益	66	559
経常費用	36,679	37,579
資金調達費用	347	328
(うち預金利息)	89	62
役務取引等費用	9,150	9,517
(うちATM設置支払手数料)	7,155	7,404
(うちATM支払手数料)	480	479
営業経費	27,155	27,727
その他経常費用	25	6
経常利益	21,507	22,826
特別損失	78	21,841
固定資産処分損	78	85
関係会社株式評価損	—	21,756
税引前中間純利益	21,429	984
法人税、住民税及び事業税	6,754	6,811
法人税等調整額	△133	△6,527
法人税等合計	6,620	283
中間純利益	14,808	701

## (3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	30,572	30,572	30,572	0	137,706	137,706	△0	198,851	
当中間期変動額									
新株の発行								—	
剰余金の配当					△5,659	△5,659		△5,659	
中間純利益					14,808	14,808		14,808	
自己株式の取得							△380	△380	
自己株式の処分								—	
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)									
当中間期変動額合計	—	—	—	—	9,148	9,148	△380	8,768	
当中間期末残高	30,572	30,572	30,572	0	146,855	146,855	△380	207,620	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	217	217	533	199,602
当中間期変動額				
新株の発行				—
剰余金の配当				△5,659
中間純利益				14,808
自己株式の取得				△380
自己株式の処分				—
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)	103	103	—	103
当中間期変動額合計	103	103	—	8,872
当中間期末残高	320	320	533	208,474

株式会社セブン銀行（8410） 2019年3月期 第2四半期（中間期）決算短信（連結）

当中間会計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	30,572	30,572	30,572	0	155,493	155,493	△380	216,258	
当中間期変動額									
新株の発行	106	106	106					213	
剰余金の配当					△6,255	△6,255		△6,255	
中間純利益					701	701		701	
自己株式の取得								—	
自己株式の処分							27	27	
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)									
当中間期変動額合計	106	106	106	—	△5,554	△5,554	27	△5,313	
当中間期末残高	30,679	30,679	30,679	0	149,938	149,938	△352	210,945	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	244	244	533	217,036
当中間期変動額				
新株の発行				213
剰余金の配当				△6,255
中間純利益				701
自己株式の取得				—
自己株式の処分				27
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)	600	600	△212	387
当中間期変動額合計	600	600	△212	△4,925
当中間期末残高	844	844	320	212,110